

平成16年度第1回宇都宮市保健衛生審議会 議事録

1. 日時 平成17年1月14日(金)午後1時30分～2時50分

2. 場所 保健所 3階 大会議室

3. 出席予定者

【委員】今井(昭)委員, 眞壁委員, 西委員, 柳川委員, 中村(好)委員, 中田委員, 小林委員, 菱沼委員, 鯉淵委員, 桑委員, 中澤委員, 田嶋委員, 篠原委員, 瀬尾委員, 添田委員, 今井(キ)委員, 綱川委員, 小川委員, 井沢委員, 中村(敏)委員 (20名)

【事務局】[保健福祉部] 檀淵部長, 中村部次長(保健衛生担当), 渡部主幹

[保健所総務課] 長門課長(保健所長補佐), 小林課長補佐, ほか事務局職員

[健康増進課] 土屋課長, 松岡課長補佐, 兼原係長, 村上係長, ほか担当職員6名

[保健予防課] 野沢課長, 荻田補佐, 小林係長

[教育委員会事務局] 高田教育次長(学校担当), 大野学校教育課長

4. その他

【傍聴者】 なし

次 第	発 言 者	発 言 内 容
1 開 会	保健所総務課 課長補佐	<p>お待たせしました。</p> <p>委員のみなさまには、大変お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>定刻でございますので、ただいまから「平成16年度第1回宇都宮市保健衛生審議会」を開会いたします。</p> <p>今回の審議会は、任期満了に伴い、新たな委員による初めての審議会になります。会議に先立ちまして、佐藤市長が、ごあいさつを申し上げます。</p>
2 市長あいさつ	佐藤栄一市長	<p>みなさん、こんにちは。たいへんお忙しいところ、第1回宇都宮市保健衛生審議会に、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。</p> <p>みなさま方もご存じのように、日本も、そして宇都宮という地域も、少子そして高齢化、とりわけ高齢化社会は、超高齢化社会を迎えるだろうということで、各地方自治体ともたいへん大きな問題として捉えております。</p> <p>人口が減っているなかでの高齢化社会、そしてその高齢化社会をどう支えていくか、当然のことながら高齢化を迎えながらも、その高齢化の方々には、やはり健康でいつもいつまでも元気な、そんな高齢を迎えられるような社会を作っていくこと、これが我々の行政に課せられた仕事だと思っております。</p> <p>その点におきましては、みなさま方にたいへんなお力添えをいた</p>

<p>3 委員紹介</p>	<p>保健所総務課 課長補佐</p>	<p>だきまして「健康うつのみや21」、また「すこやか親子うつのみや21」と、2つの策定に、たいへんお力添えをいただきましたこと、心から重ねてお礼を申し上げたいと思います。</p> <p>本日は報告事項の中にもありますが、その状況について詳しく事務局からご報告させていただきたいと思いますが、引き続きまして、みなさま方にお力添えを賜りますように、心からお願いをいたしますとともに、さきほどお話しをさせていただきました、いつまでも健康であり続けられる、そんな高齢化社会の構築を是が非とも作っていくうえでのお力添えを賜りますよう、お願いいたしましてご挨拶といたします。本日は誠にありがとうございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、会議次第 3の委員紹介に移りたいと思います。</p> <p>委員の皆様には、委嘱状をお一人ずつ、市長からお渡しするところではございますが、お手元に配布させていただいておりますので、ご了承の程お願いいたします。</p> <p>それでは、次第の次に綴ってございます名簿の順に各委員の皆様方をご照会させていただきたいと思います。私がお名前をお呼びいたしますのでご起立ください。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、第1号委員市議会議員といたしまして、今井昭男委員です。真壁英敏委員です。西房美委員です。</p> <p>次に、第2号委員学識経験者といたしまして、埼玉県立大学学長の、柳川洋委員です。自治医科大学教授の、中村好一委員です。</p> <p>次に、第3号委員各種団体の代表といたしまして、宇都宮市医師会から、中田敏良委員です。宇都宮市歯科医師会から小林豊委員です。宇都宮市薬剤師会から、菱沼昌之委員ですが、遅れるということでございます。</p> <p>栃木県看護協会から、鯉淵タツノ委員です。栃木県栄養士会宇都宮支部から、桑まり子委員です。栃木県済生会宇都宮病院から、中澤堅次委員です。途中ですが、菱沼委員がみえましたので紹介いたします。宇都宮市薬剤師会から、菱沼昌之委員です。栃木県獣医師会栃中支部から、大牧辰男委員ですが、本日はご欠席でございます。</p> <p>栃木県食品衛生協会宇都宮支部から、田嶋光男委員です。栃木県生活衛生同業組合協議会宇都宮支部から、篠原秀夫委員ですが遅れるということでございます。宇都宮市自治会連合会から、今井源一委員です。同じく遅れるということでございます。</p>
---------------	------------------------	--

<p>4 会長・副会長選出</p>	<p>保健所総務課課長補佐</p> <p>瀬尾委員</p> <p>保健所総務課課長補佐</p> <p>保健所総務課課長補佐</p>	<p>宇都宮市民生委員児童委員協議会から、瀬尾充男委員です。 宇都宮市女性団体連絡協議会から、添田包子委員です。 宇都宮市商工会議所女性部から、今井キヨ委員です。 宇都宮市小学校長会から、綱川雅子委員です。 宇都宮市食生活改善推進団体連絡協議会から、小川擁子委員です。 次に、第4号委員の公募委員でございますが、井沢知子委員ですが、遅れるということでございます。中村敏久委員です。 以上、22名の委員構成でございます。 ここで、会議の途中でございますが、佐藤市長にはこの後予定がございますので、ここで退席させていただきたいと思っております。 続きまして、本日出席しております市の職員を紹介いたします。 榎淵保健福祉部長です。 中村保健福祉部次長保健所長兼務です。 長門保健所長補佐兼総務課長です。 渡部保健福祉部総務担当主幹です。 土屋健康増進課長です。 野沢保健予防課長です。 高田教育委員会事務局次長です。 大野学校教育課長です。</p> <p>次に会議次第4 正副会長の選出でございます。審議会規則第2条第4項の規定により、委員の互選によって定めることとなっておりますが、いかがいたしましょうか。</p> <p>会長には、市医師会の会長であり、当審議会の前会長でもあります中田敏良委員に引き続いてお願いしてはいかがでしょうかと思います。また、副会長には、行政全般だけでなく、福祉や環境の分野にも幅広い知識をお持ちで、前に、市議会の厚生常任委員長を歴任された市議会議員の今井委員にお願いしてはいかがでしょうかと思います。</p> <p>ただいま、会長には中田委員、副会長には今井昭男委員との声ありがとうございました。いかがでしょうか。</p> <p>- 委員から「異議無し」の声あり -</p> <p>それでは、中田委員に会長、今井昭男委員に副会長をお願いしたいと存じます。 恐れ入りますが、会長の中田委員、副会長の今井昭男委員には前の会長席、副会長席にお移りくださるようお願いいたします。</p>
-------------------	---	--

<p>5 議 事 (1) 「健康うつのみや21」の取組状況について</p>	<p>保健所総務課 課長補佐</p>	<p>- 会長・副会長 移動 -</p> <p>それではここで、会長・副会長2名を代表いたしまして、中田会長にごあいさつをいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p>
	<p>会 長</p>	<p>お忙しいところお集まりいただき、たいへんありがとうございます。前年度に引き続きまして会長職を務めることになりました、宇都宮市医師会長職を拝しております中田でございます。よろしくお願いいたします。今井委員よろしくお願いいたします。</p> <p>いま、市長から、少子高齢化のことにつきましてはお話しいただいていますので、ここではそういう挨拶は割愛させていただきます。本日は平成16年度第1回となっております。第1回が年度末、あともう2か月というところでやるのもどうかと思っておりますが、この前決めました「健康うつのみや21」の進行度合いが、ちょうどこのごろ話すのが一番いいだろうということでこの時期になったのだらうと思います。</p> <p>「健康うつのみや21」の報告がこれからございますが、これは健康日本21、それから健康栃木21、健康うつのみや21というふうのリメイクでございます。昨年度は、糖尿病のこととたばこの害のことについて、重点的にやろうということになったわけでございます。今日はこれについての報告があるだろうと期待しているところでございます。</p> <p>「すこやか親子うつのみや21」につきましては、「母子保健計画」ということですね。「母子」という言葉がなんとなく昔の暗いイメージが残るから、名前を変えようということで「すこやか親子うつのみや21」になったわけでございます。内容につきましては、委員の方々おわかりだと思いますので報告事項を聞きながら、審議をしていきたいと考えております。</p> <p>簡単ではございますが、挨拶にかえさせていただきます。</p>
	<p>保健所総務課 課長補佐</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ここで、遅れてみえた委員を紹介いたします。第4号の公募委員の井沢知子委員です。</p> <p>それでは、会長にこれ以降の議事の進行をお願いいたします。宜しくお願いいたします。</p> <p>それでは、座って議事を進めたいと思います。議事に入らせていただきます。</p> <p>まず報告事項でございますけれども「健康うつのみや21」と「すこやか親子うつのみや21」と2つの報告事項がございますので、</p>

	健康増進課長	<p>まず1の「健康うつのみや21」の取組状況についての報告をお願いいたします。事務局から説明をお願いします。</p> <p>- 資料1に基づいて説明</p>
	会 長	<p>ありがとうございました。ただ今、「健康うつのみや21」の推進について説明がありましたが、どなたかご質問等がありますか。全体的な質問というとなかなかしづらいということもありますが、これまでの取組状況についての普及啓発事業では「宇都宮歩け歩け大会」や「宇都宮市健康まつり」というところで行っているということですが、普及啓発事業に関してこのようなことをやったらいいのではないかというご意見はありますか。</p>
	会 長	<p>特にないようですので、取組状況の分野ごとにご意見をお聞きしていきたいと思います。</p> <p>「栄養・食生活」「身体活動・運動」分野についてこのような取組を行っているということですが、何かご意見はありますか。</p>
	田嶋委員	<p>その前に、会長のお話では健康うつのみや21について重点取組分野がたばこと糖尿病分野ということですが。</p>
	会 長	<p>それは前の年度のことですね。今のことではないですね。</p>
	田嶋委員	<p>最近、問題となっていきていますのは、麻薬、青少年の体力の低下、妊娠の問題等がありますが、現在、健康うつのみや21としてこの後取り組んでいかなければならないことは何であるのか教えていただきたい。</p>
	会 長	<p>事務局からの回答をお願いします。</p>
	健康増進課長	<p>行政といたしましては全般的にやらなくてはならないということで全て取り組んでいかなければならないということですが、施策的には目標値を掲げて実施しているものですので、行政だけではなくなかなか対応できないところもあります。課題・重点的に取り組むべき施策・事業として4点ほど述べさせていただきましたが、行政だけではなくお互いに手を携えてそれぞれの目標を達成していきたいと考えておりますので、事務局といたしましては全て重要であると認識しているところです。</p>
	会 長	<p>よろしいでしょうか。わかったようなわからないような回答ですが。</p>

田嶋委員		<p>「健康うつのみや21」として全国平均より悪くなっているというような問題がどこなのかということをお教えいただきたいということなのですが。</p>
健康増進課長		<p>いろいろあると思いますが、一番代表的なのは人工妊娠中絶率が高いということで指摘されておりますので、いろいろな状況はあると思いますが減らしていきたいと考えております。</p>
会 長		<p>それではその次の分野について進めていきたいと思っております。「休養とこころの健康」「アルコール」分野について何かご意見やこのようなことをしたらいいということはあるでしょうか。ないようでしたら次の「歯の健康」分野に移りたいと思っております。「歯の健康」についてなにかありますか。</p>
小川委員		<p>「栄養・食生活」の分野ですがよろしいでしょうか。</p>
会 長		<p>いいですよ。どうぞお座りになったままでお願いします。</p>
小川委員		<p>先ほど資料をいただきました5頁のところに「栄養・食生活」のグラフが載っております、その中に塩分の1人1日当たりの塩分摂取量が平成10年と比べて宇都宮市は上昇しているということです。この資料には市民食生活等実態調査ということになっておりますが、私たち食生活改善推進員は県の脳卒中撲滅ということで減塩関係の取組を行っておりまして、昨年度初めて塩分が目標値を達成しました。それにもかかわらず宇都宮市民では数値が上がっているということは、この資料はどのようなものなのでしょうか。県として下がっているというものが、市として上がっているということはどのようなものなのでしょうか。</p>
会 長		<p>それでは事務局のご回答をお願いします。</p>
健康増進課長		<p>この数値につきましては、昨年度実施しました国民栄養調査の中で宇都宮市が該当となりました調査区の結果でありまして、全国的に調査するものですから宇都宮市の調査区が5、6地区ぐらいしかあたっておりません。中身をみたところ2家族で塩分摂取量が多いところがあり、そこに影響されたところがありまして、その結果だということで認識しているところです。なかなかここに出せる資料がなかったものですからこの数値を出させていただきました。県になりますともう少し客体数が多くなりますので平均化されるものと考えております。</p>

会 長	よろしいですか。あまり母数が少ない数値をだされてもどうかと思いますが、説明ではそのようなことですが、中澤先生何かご意見ありますか。
中澤委員	母数はどのぐらいなのでしょう。
健康増進課長	総数で195です。
会 長	よろしいですか。ご意見がありましたらどうぞ。
中澤委員	件数はどのぐらいの数値なのでしょう。
小川委員	数値は把握しておりません。
会 長	そのようなことで「こころの健康」の分野はよろしいでしょうか。それから「歯の健康」はいかがでしょうか。歯科医師会の先生何かご意見はありますか。
小林委員	ありません。
会 長	なければ結構です。それでは「たばこ」の分野に入ります。「たばこ」の分野はいろいろなところでいろいろなアンケートを取っておりますが、市医師会においてもアンケートをとってそれなりの成果を出していますが、事業実践についてはいろいろな問題があります。がんの死因のほとんどは肺がんということも出ておりますし、家の中で吸えないので外で吸ったときに窓を閉めて吸ったときと閉めないで吸ったときの差が出るということがデータの的にも出ています。たばこについてはそのような取組も重点項目に挙げるといことです。市庁舎などについても現在どのような状況になっているのでしょうか。
健康増進課長	市の公共施設につきましては基本的に禁煙ということになっております。学校施設内についても禁煙であり、たばこを吸う人にとっては吸いずらいような状況になっておりますが、公共施設内については禁煙ということで取り組んでおります。
会 長	たばこの自動販売機について撤去したほうがいいのではないかとというような意見も出ていたと思いますが、その後何か進展はあったのでしょうか。
健康増進課長	1階の市民の方の目に見えるところにありましたが、1階につい

	<p>会長</p> <p>柳川委員</p> <p>会長</p> <p>保健所長</p>	<p>ては撤去いたしました。</p> <p>たばこについてはこれからも重点的にやっていっていただきたい。また、糖尿病については、「糖尿病」「循環器」「がん」分野ということで糖尿病を重点的に取り組むということですが、糖尿病予防講演会、それから合併症予防講習会という形で取組を行いそれに効果はあがっているのだらうと思いますが、何かご意見はありますか。</p> <p>質問という形ですが、参考資料の7頁の下の方ですが、基本健康診査で「要医療」に該当する人の割合が平成8年度と比較すると倍以上にもなっていますし、その次の頁、8頁のヘモグロビンA1cに該当する人も割合が増えてきています。ということはそのまま放っておけばさらに増えていくのではないかとということで相当計画をよく考えていただかないといけないと考えているのですが、平成8年からの増え方をどのように理解されているのか、本当に増えたのかまたは別の理由があるのか、またこれから先30%以上減らすとかいろいろ目標値が書いてありますが、増える傾向を止めるためにはどこに重点をおいてどのようなことをしていかなければならないのかについてご意見をいただきたい。</p> <p>非常に皆さんがお聞きしたいところだと思いますが、どうでしょうか。</p> <p>データの解釈につきまして、かならずしも単純に増えたということで考えていいかという問題が若干ありますが、基本的に市で実施します基本健康診査の場合は治療などに努めている方はお受けになれませんので、大体自営業者の方や高齢者の方が中心となっております。そのようなことで、最近高齢化ということで、大分受診者層の中でも高齢者の割合が増えているということですが、もともと他の調査などを見ましても高齢者になるほどその中で糖尿病の疑い及び糖尿病になる方の割合が増えております。それから高齢者が比較的多く受けてきているので、この割合が高くなっているのではないかとすることは一つ考えております。また、それ以外にもやはり肥満の問題も出てきておりますので、実質的に患者の方も増えてきているのではないかと考えております。また、具体的な対策につきましては、一次予防が一番大切だとは考えておりますが、一次予防の効果につきましてはその結果が出てきますのは数年の単位ということで時間がかかりますので、早めに結果を出すという意味では二次予防である健診事業に力を入れていかなければいけないと考えているところです。具体的には事後指導について保健師などに</p>
--	---	---

よる相談のやり方などに工夫をして、異常が見つかった人にいわゆる健康的な活動をしてもらうような工夫をしていく必要があると考えております。なるべく少ない人数で効果的にやっていこうと考えておりますので、難しい面もありますが、これは我々に与えられた課題であり、行政としての義務であると考えておりますので、この辺りのところは一層努力をしていきたいと思っております。それから健康日本21の目標年度がまだ先とはいいいましても効果がでてくるのには時間がかかるということを考えますと、できるだけ早く取り組んでいきたいと考えているところです。

会 長

ありがとうございました。柳川先生よろしいでしょうか。

柳川委員

貴重なご意見ありがとうございました。

会 長

糖尿病になる人は意識がない人が非常に多いですね。私の病院にもご主人が血液の検査をすれば1週間は何もごはんをつくらなくていいとにこにこしながら言うてくる人もいらっしゃいます。それにしてもできるだけ意識をしていけばそれなりに効果はあると思っております。市のほうから糖尿病のことがいろいろとわかる講習会をいろいろな場所で開いて啓蒙していくより仕方がないと思っております。実質的には数値がどんどん上がっておりますし、糖尿病性腎症といって腎臓を悪くし、透析をやる人がいますが、これは糖尿病によるものが多いのです。これからも是非糖尿病について啓発していただきたいと思っております。

次に、地域における健康づくり活動についてですが、これはたくさん推進員を養成していつているわけですが、具体的なご意見等がありましたら教えていただきたいと思っております。

井沢委員

初めて会議に出させていただきます。12月に宇都宮市保健衛生審議会委員に任命していただきましたので、自分の住んでいるところで健康づくりに役立てることはないかということで、自分なりに考えております。私の住んでいるマンションは少し変わっております。そこには、居住者が使えるカルチャールームがありまして、そこでいろいろな趣味の講座をやっていて、ハーブ教室とかパッチワークや料理教室などがあるのですが、2日前に健康づくりセミナーというものを初めて実施してみました。入居は60歳以上の方が入れるのですが、私はその中では比較的若い方なので、これまでやってきたハーブ教室などの趣味の講座をほとんど企画して皆が楽しめるようにやってきました。初めて健康づくりセミナーにチャレンジして第1部に介護福祉士の人の話を聞いて、第2部に体を動かすこと、運動を入れてみ

		<p>ました。講師にお願いした方は健康づくり推進員で高齢者にそのような運動を指導することが専門としていて慣れている方で、椅子に座ってどういう活動をするか筋力アップになって膝に負担をかけないようにするとか、腰痛を予防するにはどのような運動が効果的とか説明をしながら音楽に合わせて皆をリラックスさせリードしてくれました。この健康セミナーに37名ぐらいの方が参加してくれたのですが、今までにない盛り上がりで実にすばらしく、これからもこのようなセミナーを日常的にやっていきたいという意見がとてとたくさん出ました。このようなことは初めてでした。このようなことをやりますというチラシをつくり参加者を募りましたが、このような運動を是非やりたいという下からの盛り上がりでした。月1回ぐらいは講師の先生も時間が取れそうだというので、1月20日がその第1回目になりますが、そのような急展開になりまして私も非常に驚いております。今後病気になりたくないという真剣に思っている人は日常的に学びたいとなるのですが、そこまでいかない80歳を過ぎてはあはあしているような高齢者の中にはいるのですが、そのような人はハードすぎてついていけないということもありますので、専門家としての立場からお聞きしたいのです。私がやろうとしていることは素人なので危なっかしいのか、やるべきなのかそのようなことを経験者の方からご意見をいただきたいと思っております。</p>
会長		<p>おっしゃっている意味は健康づくり推進員がそのように活動していることは非常にいいということですね。具体的にそのような高齢者の方をどうするかということは保健衛生審議会ということではなくて違う場でご説明していただければいいのではないかと思います。よろしいでしょうか。</p>
井沢委員		<p>はい。</p>
会長		<p>ありがとうございました。計画の中間評価が今度は18年度になるということですが、現在はその中間評価の途中の評価ということですね。</p> <p>それでは最後にご意見はありますか。</p>
真壁委員		<p>真壁です。少し質問させていただきます。参考資料ですが、全部見させていただきましたが、抜けているのではないかとこのところがあります。たばこの分野で平成16年の10月にアンケート調査を実施したと書いてあるのですが、そのアンケートの結果が入っていないような気がするのですが、今集計中ということでしょうか。それが1点です。</p>

	健康増進課長	<p>それから、地域における健康づくり活動で、イの健康づくり推進組織16地区において設立とあるのですが、宇都宮市内は連合自治会が37地区ありますが、そのような区分はどのようにされたのか知りたいと思います。なぜ37地区ではなくて16地区にしたのかそれを併せて教えてください。</p> <p>また、さきほど井沢委員からお話がありましたが、私はこの健康づくり推進員というのがどのような活動をしているのか、私たちの地域で誰がなっているのかもわからないし、具体的なものが見えてこない気がするのですがいかがでしょうか。</p> <p>まず、たばこの調査ですが、今年度実施したところでありますので、先ほど課題のところでも説明したところですが、それらを踏まえて具体的な施策に結び付けていきたいということで、今調査結果を分析中です。</p> <p>それから推進組織につきましては、宇都宮市は37地区ありますので、市としては全部の地域に作っていきたくて考えておりますが、現在までのところ16地区で設立されたというところがあります。スタッフの問題等もありますが、養成講座というものをだいたい3回ぐらい開くことになっております。特に地区は限定しておりませんが、そこに参加していただける人の問題等がありますので、今後とも引き続き地域のボランティアの方に参加していただいでできるだけ早い時期に全地区で立ち上げていきたいと考えております。活動につきましては、それぞれそこに参加している方の能力と参加できる状況等がありまして先ほど説明してところもありますが、ウォーキングや食生活などその地区によっていろいろな活動をされているということです。なかなか新しい組織でありますので、地域によっては連合自治会から補助金等をもって活動しているところもありますが、できれば地域の中でもう少しPR活動をしていくところを周知していければと考えております。</p> <p>それから、先ほどのたばこの自動販売機についての質問がありましたが、本庁に過去に6箇所ありましたが、現在は地下の売店に2箇所あるというように訂正させていただきます。</p>
	真壁委員	<p>今の説明だと37地区で健康づくり推進組織を作っていくという理解でよろしいのですね。そうであるところの書き方「13組織(16地区)で設立」はもう少しわかりやすい書き方のほうがいいのではないかと思います。37地区の中で13組織ができているという書きの方がいいのではないかと思います。</p>
	健康増進課長	<p>すみませんが付けたしをさせていただきます。13組織ですが、緑と陽光地区は2つで1つの組織となっています。それから雀宮地</p>

<p>(1) 「すこやか親子うつのみや21」の取組状況について</p>	<p>会 長</p>	<p>区では若松原地区等と2つで1つの組織を作っているところがあります。地域の実情によって推進員の数の問題等もありますので、市のほうからこのようにしなさいということは言えないところもあります。本当にボランティアの方が自主的にやっていくようお願いしているところでもありますので、できれば37地区全域に単一の組織ができればいいと考えておりますが、現状ではそのようなことでもありますのでご了解ください。</p>
	<p>健康増進課長</p>	<p>ありがとうございます。これからも見守っていきたいと考えております。それでは時間もせまってきましたので、「健康うつのみや21」の取組状況については今後ともご報告いただきたいと思います。</p> <p>2番の「すこやか親子うつのみや21」の取組について説明をお願いいたします。</p> <p>- 資料2に基づいて説明</p>
	<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。妊娠・出産期から乳幼児期、青少年期と広範囲にわたるものでありますが、何かご質問等がありますか。</p>
	<p>中村(好)委員</p>	<p>資料の3頁一番最後の青少年期(思春期)に望まない妊娠や性感染症を防ぐとありますが、これはとても重要なことだと思いますが、ただその根拠となっているものが人工妊娠中絶実施率がどうのこうのといことで、参考資料2の6頁のグラフで国、県と比較して人工妊娠中絶率が高いということに関して先ほどご質問に対するご回答がありました。この数値については、全国でもほとんど信用しているところはありません。母体保護法で人工妊娠中絶を行った母体保護指定医は届けなくてはならないということになっていますが、その届出率が非常に低い、従って届けられていないものがあるだろうと皆さん思っております。その中で例えば県全体で見ますと栃木県北部のほうが人工妊娠中絶の実施率が高いということになっていますが、それは単に宇都宮市あるいは栃木県北部の母体保護指定医がまじめに届け出ている結果だけという可能性が非常に高いと思いますので、あまりこの数値にはとらわれないほうが私はいいと思います。ただ、現実問題としてこれだけ十代で人工妊娠中絶実施率が高いというのは事実でありますので、そうした望まない妊娠を0にもっていくという施策は当然必要なことだと思います。</p>
	<p>会 長</p>	<p>それは質問ではなくてご意見ということでよろしいでしょうか。</p>

	<p>中村（好）委員</p> <p>会 長</p>	<p>はい。</p> <p>ありがとうございました。私が本当は言わなくてはならないことを先生にいついていただきました。統計の数値それだけでは言えないところもあります。確かに宇都宮地区からみんなまじめに届け出るものですから当然多くなってしまいます。どの地区もまじめではないということではありませんが、全国的に言えばそのようなことになっていると思いますので、特に宇都宮市や栃木県の人工妊娠中絶実施率が高いということはどこのデータからいってもそのようなことは出てくるわけがないので、もっと大都市ではもっともっと激しいことが行われているということですから、その辺のところはあまり目標にはもっていかないほうがいいのではと思っております。先生ありがとうございました。</p> <p>これは何年度までの計画ですか。</p>
6 その他	<p>健康増進課長</p> <p>会 長</p>	<p>平成22年までの計画です。</p> <p>ということはあと5年あるということですね。</p> <p>わかりました。特にご質問等がないようでありますので、これにつきましてはこれくらいにして暫時進めていきたいと思っております。</p>
	<p>会 長</p> <p>保健所総務課 課長補佐</p>	<p>それでは次に、次第6のその他ですが、事務局から何かありますか。</p> <p>その他として議題は特にございませんが、さきほどの委員紹介のなかで遅れてこれらと紹介いたしました、宇都宮市自治会連合会の今井源一委員ですがご欠席との連絡が入っておりますのでご報告いたします。事務局からは以上です。</p>
7 閉 会	<p>会 長</p> <p>保健所総務課 課長補佐</p>	<p>なにか委員の先生方ほかにご意見がございますでしょうか。</p> <p>ないようですので、以上で議事を終了させていただきます。皆様にご協力いただきまして、滞りなく、議事を進めることができました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>長時間にわたり熱心にご審議いただきありがとうございました。以上を持ちまして、平成16年度第1回宇都宮市保健衛生審議会」を終了いたします。</p>